

そして音楽の旅は続く

会社の利益を生める アーティストになれるだろうか



たった1年半程度の裏方業でしたが、学びの多い経験でした。その間、自分の曲作りやスタジオで唄う仕事などをまったくしていなかったのは、気持ちも身体も忙しくてその気にならなかったから。そこに突然、東芝EMIのディレクターからの1本の電話。お時間を頂けないかとの事でした。契約のオファーです。

昔の音楽業界は今とは違うものでした。業界の売上は伸び、余裕と活気に溢れていました。面白いことに音楽の制作側、ディレクターやプロデューサーにはポプコン出身者や、元ミュージシャンが大勢いて、就職試験や学歴とはまったく縁のない人たちが混在する世界でした。実際に音楽やアーティストがどういうものかを知っている彼らは、アーティストと共に将来像を描きながら二人三脚で音楽を作っていくのです。ですから、他のセ

クションが売れそうにないからと手を引いても、面白いもの、個性的なもの、痺れるものがあれば、諦めずにそのアーティストを世に送り出そうとしてきました。そんな彼らは常にアンテナを張り巡らして、アーティストとの出会いを求めています。無名アーティストでも噂を聞けばそこに行き、山ほどレコード会社に送られてくるデモテープ(家で弾き語りスタイルの荒削りカセットテープ)も聞き、咲くかもしれない才能を探していました。今のようにYouTube再生回数の多いのだけを会社のデスクで見探すのとは大いに違いました。あの時、私に連絡が来たのは1曲の音源のおかげでした。上京してスタジオでいろいろな唄う仕事をしましたが、そのうちの1曲、木戸やすひろさんの曲のデモテープがきっかけになりました。私はデモで唄っただけなので、どのようにして東芝EMIに流れて行ったのかわかりませんが、お話をしたようにディレクターもプロデューサーも食欲に探していたので運よく見つけてもらえたんだと思います。因みにその曲はその後、あみんさんや、八神純子さんのLPで世に出ています。

さて、どうしましょう。アーティストになることが上京の本来の目的ではあったけれど。いちばん悩んだのは

ジャズボーカリスト 星乃けい

official website

<https://www.hoshinokei.com>

「自分が会社の利益を生めるアーティストになれるだろうか」「靴底を減らすスタッフに申し訳ない」「経費をペイできる?」というような裏方の脳を持ってしまったことでした。もちろん裏方の経験はその後に生きてきましたが、二十歳そこそこでは2つの考えを上手く消化して混ぜ合わせるのは難しかったなあ。でもやっぱり、唄えるなら唄いたい。私は意を決してアルファミュージックの大橋一枝社長と、EMIプロデューサー石坂敬一さんにお会いしました。



2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をリリース。ジャズファン、ジャズメン、オーディオファンから高く評価支持される